

■桂川甫賢 蘭方医。鎖国下に学者として世界的に知られ、日本人初の国際学会員になった。

かつらがわほけん

昌平饗始・1797= 桂川国宝の長男として築地で生まれた。

幼児から葛西因是に漢学を習い、_祖父桂川(甫周)国瑞に蘭学を学び、

げんろ報復・1806=9歳:

浮世風呂・1809=12歳:_祖父の死去後は、大槻玄沢、宇田川玄真、坪井信道らに師事。

.....1810=13歳:オランダ商館長ツープに面談、蘭名を授かる。

.....1815=18歳:祖父の7回忌に、祖父の口述を甫賢が筆録した「海上備要方外傷門」を刊行。

伊能測量終・1816=19歳:*御広敷廻り医師に任命され、官途につく。

水野忠成老中1818=21歳:

膝栗毛終・1822=25歳:_商館長プロムホフーらと対談、同年コレラが流行し、「酷烈疎弁」を著わす。

シーボルト鳴滝塾1824=27歳:

.....1826=29歳:*参府のシーボルトと会見、「蝦夷本草之図」2冊や写生図・脂葉標本多数を贈り、植物分布を解説するなどシーボルトの日本植物誌研究を支援。小野蘭山の「花叢」を蘭訳し、自序を加えて提出、パタビア芸術科学協会会員に推挙される。シーボルトはその著「日本」の中で、甫賢の学業をしばしば賞揚している。同年「山猫図説」を著わす。

日本外史・1827=30歳:_父が死去したのを受けて、侍医となり、

シーボルト事件・1828=31歳:

富嶽三十六景1831=34歳:*法眼に叙さる。

天保大飢饉始1833=36歳:

_渡辺崋山・高野長英・小関三英らと親交があり、

大塩平八郎乱1837=40歳:

蛮社の獄・1839=42歳:_蛮社の獄に衝撃を受ける。

天保改革弾圧1842=45歳:_外科医養成の命を受け、医学館で講義しながら、ハイステル解剖書を訳述「剖散撮要」などするが、

天保改革終・1844=47歳:_病没した。